

PACIENTE FEZ TRATAMENTO DE ACUPUNTURA
PARA A VISTA E A MELHORA APÓS TRATAMENTO.

鍼灸の魔術師

(17)

ペンギン・文・育

さん

『糖尿で失明から回復』

イタベチニンガ 大林 正義パウロ



ペンギン先生と大林さん

私は大林正義パウロ、一九四五年九月六日生まれ、六十歳です。私は医者にかかったことがないほど健康でしたが、五十七歳を過ぎたこ

ろ、視力が落ち始めました。医者の診断で糖尿病が原因だと分かりました。視力は日に日に落ち始め、とうとうまったく見えなくなってしまうまし

た。緊急に右目の手術を受け、また両眼の白内障の手術をしましたが、まったく効果はなく約二年半の間、目の見えない全盲の生活を余儀なくされました。

二〇〇五年には糖尿病から腎臓障害がおき、また心臓にも問題が起き入院しました。当時は病院に入退院を繰り返す大変苦しく辛い時期を過ごしておりました。

私に一筋の光が当たられたのは忘れもしない二〇〇五年六月二十四日、ペンギン先生がイタベチニンガで針の出張治療を行ったときでした。

私は薬(わら)をもつかむ思いで治療を受けました。そして幸運にもその当日から見えなかったこの目が見え始めたのです。

視力は徐々に回復し、遂には新聞も読めるようになりました。私の健康は劇的に快方に向い始め、今では農業を普通の人と同じようにできるまでに

なりました。仕事をしても一日中具合が悪くなることはありません。今、私は週三回人工

透析(Hemodialysis)の治療を受けます。しかし病気で苦しんでいるときは何をしても希望も喜びもありませんでしたが、ペンギン先生の治療を受けてから心身ともに生まれ変わったような気分です。

もし何かの病気で苦しんでいる方がいらつしやったらぜひペンギン先生の治療を試すことをお勧めします。きっと私のように後悔することはないと思います。

私は遂に今年自動車免許証を再び取得することができました。私をこのようにもう一度元気に生き返らせて下さったペンギン先生に心から感謝するばかりです。ペンギン先生の電話は3228・6030、3226・3927。